



被災地に届け！子どもたちの思い・・・



本日から2月となりました。2月は昔から「如月（きさらぎ）」と言われます。その由来は諸説ありますが、まだまだ寒さが厳しい時期のために、更に衣を重ね着するという意味から「衣更着（きさらぎ）」になったという説が最も有力とされています。また、「如月」には寒い冬が終わり、春に向かって万物が動き始める時期という意味もあるそうです。明後日は「節分」その翌日は「立春」です。職員玄関前に植えられている梅も咲き始め、寒さの中にも春の訪れを感じる季節となりました。

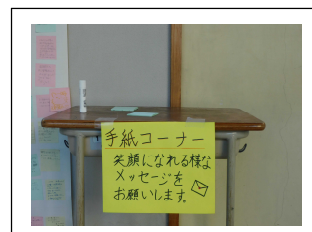
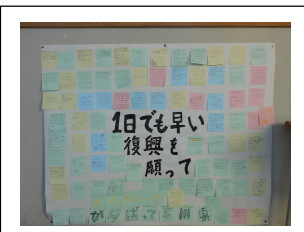
さて、1月1日に発生した能登半島地震による被災地の復興はまだまだ道半ばです。断水や停電が続き、未だ避難所での生活を強いられている方々が数多くいます。倒壊した家屋の片付けやインフラ整備も手つかずの地域もあります。しかし、少しずつではありますが、現地におけるボランティアの受け入れも始まっています。本校でも「被災地のために何かできないか？」と1年生の評議委員が考え、全校評議委員会に提案してくれました。その結果、全校で『募金』を集め、被災された方々へ『メッセージ』を送ることが決まりました。しかし、その期間や方法等、具体的なことは決まっていませんでした。そのため1年評議委員と生徒会本部役員の生徒たちが放課後や昼休みを使って、時間をかけて検討してくれました。参加した生徒が被災された人々のために前向きに取り組む姿勢にはとても感銘を受けました。最終的には募金は1/22（月）～26（金）の朝8:00～8:25に、南棟・北棟のそれぞれの昇降口で1年評議委員と生徒会本部役員の生徒たちが呼びかけて集めることにしました。一方、メッセージはそれぞれ付箋に書いてもらい、2階と3階の渡り廊下に掲示した模造紙に貼ってもらうことにしました。そんな熱い思いが全校生徒に伝わったのか、多くの生徒から募金やメッセージが集まりました。募金をした生徒の中には「お金は自分のお小遣いやお年玉から出しました」という生徒も多くいました。募金の合計金額は**182,442円**でした。また、集まったメッセージには次のようなものがありました。その一部を紹介します。

- ・今は寒くて不便で悲しくて本当に大変な状況だと思います。私たちは暖かい神奈川にいて、何かすぐにお助けやお手伝いできることが難しいけど、募金は一生懸命します。少しでも役に立ちたいです。能登（珠洲）は私のひいおばあちゃんの出身地です。決して他人事とは思わず、できる限りのことをします。くれぐれもお大事にしてください。
- ・少しでも早く暖かい場所で、たくさんの笑顔の集まる能登半島になることを願っています。辛い日々でしょうが、頑張ってください。1日も早い復興を願っています。
- ・いつも皆様の様子をニュースで伺っております。「何気ない毎日が当たり前じゃないんだ」ということを改めて感じます。中学生も二ヶ月ほど集団避難することも知りました。大変な毎日かもしれませんが、応援しています。頑張ってください。
- ・受験生へ 同じ受験生として頑張らしましょう！ Good luck! Fight!

このメッセージにもあるように、今回の地震で輪島市をはじめ、いくつかの市町の中学生が集団避難しました。その中には受験を控え、落ち着いた環境で勉強をしたい（親の立場で言えば、させたい）という理由から被災地（親元）を離れる決断をした中学生もいると思います。一方で親元を離れるのが不安だったり、逆に「被災地のために自分ができることをしなければ」という使命感から被災地に残る決断をした中学生もいたと思います。中学生という多感な時期に今回のような決断を迫られることに、私は中学校教員の一人として胸が痛みます。同時にいずれの判断をした中学生も必ず、この経験が彼らの人間的な成長につながると信じています。

「がんばれ、能登の中学生！」

なお、今回集めた募金とメッセージは藤沢市社会福祉協議会のお力添えをいただき、被災地に届けられることになっています。また、この度の被災地に向けた本校生徒の活動については、『タウンニュース』（2/2の予定）に掲載される予定です。



「いつもどおりが一番強い！」～受験シーズン到来！～

1/22（月）の私立高校推薦受験を皮切りに高校受験が本格的にスタートしました。すでに合格して校長室まで、わざわざお礼に来てくれる生徒もたくさんいました。今後、受験を迎える生徒たちには自分の実力を思う存分出し切って欲しいと思っています。私は日頃から生徒に「“いつもどおり”が一番強い！」だから「“いつも”を大切に！」という話をしています。受験も試合もベスト以上の力を出すのは難しいことです。ベストを尽くすことだけを考えて、できれば試験を“楽しむ”くらいの気持ちで臨んでもらえたらと思っています。ここまで来たら、あとは“いつもどおり”に毎日の学校生活を送り、健康管理に努めながら、チャレンジして欲しいと思っています。



また、3年生の保護者の皆様には、今年度、公立高校がインターネット出願となる中、システムの不具合なども生じ、不安に感じている方も多いかと思えます。手続き等に関して、お困り事や心配な事がありましたら、ご遠慮せず担任までご連絡ください。

“氷点下の世界”を体験！～1年生ハヶ岳野外体験教室～



2/4（日）から2泊3日で1年生がハヶ岳野外体験教室に出かけます。ほうとう作りやスキー教室、キャンドルファイヤーなど、さまざまなプログラムが用意されています。その中でも私が子どもたちに一番感じて欲しいのが、藤沢市では体験することができない“氷点下の世界”です。この時期のハヶ岳は-10℃以下にもなるため、ポリバケツに一晩水を入れて放置するとアイスキャンドルができます。また、外で風呂上がりに濡れたタオルを振り回すとあっという間に凍ってタオルが立ちます。そして、何よりも素晴らしいのが冬の夜空です。ハヶ岳は日本でも三本の指に入る星空観察のベストポイントです。そんな大自然の中で子どもたちがクラスや学年の絆を深めてもらえたらと思っています。

貴重なご意見、ありがとうございました ～学校評価～



12月には大変ご多用の中「学校評価」にご協力いただき、ありがとうございました。結果については後日改めてお知らせいたしますが、学習指導や進路指導、安全面等については厳しいご意見もいただきました。保護者のお立場からご意見をいただくことは、本校の発展にとって欠かせないものだと考えております。ご指摘いただいた点は真摯に受け止め、今後、学校運営協議会でも検討し、改善を図ってまいります。また、学校や教師の思いが十分にご理解いただけていないと感じる部分については学校だよりや学年・学級通信等、様々な機会を通じて丁寧な説明が必要だと感じております。そうした中で次のような有り難いお言葉もいただきました。

- 先生方のフットワークが軽く、とても慎重に対応してくださるので、相談しやすいです。子どもたちの生活面に対しての指導が、とても細やかだと感じています。
- 先生方の手厚いサポート、先輩方の格好良さと優しさに支えられて充実した学校生活を送れているのではないかと思います。顔つきが柔らかくなったと感じています。

とても励みになります。ありがとうございました。今後も保護者の皆様と共により良い学校づくりに努めてまいります。

★美術部の作品が湘南大庭市民センター

1階ロビーに展示されています！（1/22～2/2）

